

津山ふぁみ・さぽミニ通信

例年になく次々押し寄せる寒波に身も心も縮むようでしたが、先日、わずかに感じた春の予感に春への期待感が一気に膨らみ、喜びを感じています。

日頃ファミリー・サポート・センター事業にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、広報津山2月号で、津山市の子育て支援サービスについての紹介がありましたが、なかでもファミ・サポと関わりがあるのが、昨年開設したアルネ・津山4階の「一時預かりルーム にこにこ」です。

受け入れ時間をアルネの開館時間に合わせているため、早朝から用事がある親にとっては、それまでの時間のサポートが必要になります。そこで、ファミ・サポの出番です。例えば次のような場合にご利用できます。

依頼会員が早朝の用事がある時、提供会員の家に子どもを預け、開設時間に合わせて「にこにこ」に送ってもらったり、また、迎えが間に合わない時も、代わりに迎えに行ってもらったりできます。

「にこにこ」とファミ・サポが連携して、子育て家庭を応援しますので、いつでもご相談ください。

交流会の報告

H29/12/16(土)クリスマス交流会

今年も約100人の親子が参加。



美術大学児童文化研究部の皆さんによる人形劇「3匹の子ぶた」



ファミ・サポの強力な味方、サブリーダーの皆さん。左より、間庭さん、四木さん、土居さん、岸本さん、小林さん、香山さんと颯希ちゃん

もらったよ～

サンタさん
大好き!

サンタさん、
ありがとう!



H30/2/21(水)

ちくちくtime +

子育てカフェ with 助産師

「さん・さん」とファミ・サポが共催

刺繍作家の竹島未歩さんにアイヌ文様の刺繍を教わりました。助産師の澁谷奈津美さんからは、子育てのアドバイスを聞くママの姿も。グループ毎に初対面の人とも和やかに会話の弾む会でした。



ふだん家にばかりいると、息が詰まることもあります。久しぶりに好きな手芸もできて有意義な時間を過ごせました。

助産師さんから初めての話を聞いて、とてもためになりました。

同じ子育て世代の方々とのおしゃべりも楽しかった～



会員のページ

今回はサブ・リーダーの土居敦子さんと岸本芳郎さんからコメントをいただきました。



【土居敦子さん】

月1回の「ミニさろん」に参加して若いお母さんと赤ちゃんや子どもさんに出会うと、いつも懐かしい気持ちになります。

うちの子は4月から高校3年生と中学校2年生になります。ファミ・サポの会員になって、上の子がハイハイしていた頃に、ここの和室で子どもたちを遊ばせて、青い座布団にねんねさせて、おしゃべりしているうちにママ友がたくさんできて・・・このときの仲間とは、悩みを相談したり、泣いたり笑ったりしながら、ずっと一緒に子育てをしてきました。

途中で仕事を始めた人、引っ越して遠くに行った人もいましたが、未だに3、4人は定期的に集まっています。もちろん就園、就学と共に子連れ状態は脱して、集まるのは母のみです。

地域の親子クラブと違って、子ども達は皆それぞれ小学校、中学校と別々でしたが、高校では偶然みんな一緒になりました。子ども同士は覚えているようないないような。でも参観日には挨拶をくれたりします。覚えてるんだね。

今年のママ友会の話題の中心はドキドキの大学受験でしょうか。子どもの成長に従って話題も悩みも刻々と変化していきますが、「どうしよう～?!」と互いにオロオロしながらも、思いを共感できさえすれば、なんだかスッキリして元気が出ます。

これから大学進学、就職で、子どもが家から出て行ったとしても、ときどき集まれば寂しくない。あの時と変わらない青い座布団の和室で温かい気持ちになる今日この頃です。

・・・置は、もう・・・替え時じゃないでしょうか？



【岸本芳郎さん】

孫の思い

今年の正月、東京に住んでいる長男夫婦と3歳半になる孫(女の子)が我が家に帰ってきました。はじめ孫は、「じいじ・ばあには会いたいけど津山には行かない。」と、かなり強情に言い張っていたようです。理由を聞くと、夏に帰ってきた時、我が家の庭でした花火が怖かったようで、津山に行くとまた怖い目に遭うと思っていたらしいのです。

我々おとなは、東京では隅田川の花火のような大きな花火を見ることはあっても、庭先でする小さい花火はする機会が少ない(マンションや公園は花火禁止が多い)から孫はきっと喜ぶだろうと思っていたので、孫が花火を怖いと感じていたことは本当に意外でした。おとな目線と子ども目線の違いをあらためて痛感しました。今回は、両親が「冬には花火はしないよ」と説得し、孫も納得したので無事津山に帰ってくることができました。

そして、今年の正月は近くの公園で凧あげをして遊びました。これは孫の方からやりたいと言ったことなので、今度帰ってくる時に「凧あげが怖いから津山には行かない」と言い出すことはないと思います。



講習会の報告

11/15 「司書さんに聞く『子どもと絵本』の話」

講師 大河原 信子さん (津山市立図書館副館長)

講習会は、前半はサブ・リーダーの2人の発表、後半は司書の「絵本の話」でした。



最初に間庭早苗さんからは、牛乳パックやペットボトル、段ボールなど、身近にあるものを使って作るおもちゃの紹介がありました。実物を手に、一つひとつの作り方や子どもたちが喜ぶ遊び方を教えていただきました。
「帰ったら早速手作りに挑戦してみよう」との声があがっていました。

続いて、土居敦子さんからは、入会当時に受けたサポートの思い出や相手のご家族との温かい交流についてのお話や子育て中の多くの母親にファミ・サポを紹介してこられた経験などをお話いただき、ファミ・サポが必要とされている現状が参加者に伝わったようでした。



その後、図書館副館長の大河原信子さんに「子どもと絵本」のお話をさせていただきました。
「いい絵本とは」「何を読んだらいいか」「どう読んだらいいか」「グループでの読み聞かせはどうしたらいいか」などを、絵本を使って具体的に教えていただいたり、参加者同士でそれぞれの本に対する思いを話し合ったりしました。
最後に、子どもに絵本を読むことは触れ合い(スキンシップ)のひとつであり、それが信頼関係を築くための基礎になり、心の栄養となって生活の中でつらいことがあった時に、安心感を思い出せるとのことでした。
また、「読んであげなければならないと堅苦しく思わないで、おもちゃのひとつとして考えれば良いのでは」との一言も添えられました。

～～ 受講された方たちの感想 ～～

- ・子どものために読むのに参考になりました。小さな子どもは、立体でなく平面、そして原色を好むというのは初耳でした。
- ・できる時に、自分も楽しみながら読み聞かせができたかと思えるようになりました。
- ・生の声で聞かせ、見せることの大切さや絵本の素晴らしさを感じました。
- ・本を選ぶ時の方法などとても参考になりました。
- ・子どもにできなかった絵本の読み聞かせを孫にしてみようと思いました。



「ミニサロン」は こんなところ

毎月 第4水曜日 10:30~12:00
アルネ・津山 5階「さん・さん」和室で開催

- * どなたでも、気楽に立ち寄り楽しめるサロンです。
- * いつ来て、いつ帰ってもOKです。
- * サブ・リーダーさんが温かく迎えてくださいます。



平成29年7月26日のミニサロン

アドバイザーの ふあみばなし

①先日聞いた他のセンターの話だけど、提供会員さんが、車で児童クラブに迎えに行ったとき、子どもさんの開けたドアが、隣に停めてあった車に当たってしまったんですって。

②それは大変。うちでも車を使ってのサポートが多いので、似たような経験をした方はいるかもしれないわね～。

これまで皆さんが気を付けてくださっているので、そういった事故の報告は無いけどね。

④これからも運転中だけでなく、乗り降りの時や、ドアとパワーウィンドーの開け閉めにも気を付けて、安全にサポートしていただきたいわね。

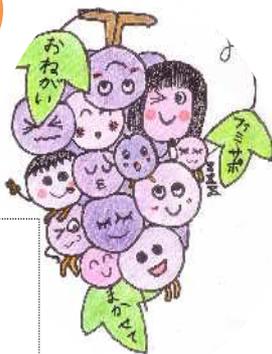
⑥皆さん、安全運転をお願いします。気付いたことがあったら何でも連絡くださいね。

それと、些細なことでもヒヤッとしたことがあったら、センターに知らせてもらえれば、みんなで注意できて、サポートにも活かせるわね。

お知らせ とお願い

連絡をお忘れなく

- ・「住所が変わりました」
- ・「子どもが入園しました」
- ・「仕事に就きました」など変更のある方、必ず報告を！



顔合わせ済みの会員さんやサブ・リーダーさんの連絡先の登録を！

- ・センターの休館日や、開館日の開館まで、閉館後の時間等にサポートが必要になったときは、直接顔合わせ済みの会員に連絡してください。
*その後センターへの報告もお忘れなく！
- ・また、あなたの地区のサブ・リーダーさんの電話番号も登録しておきましょう。

お問合せ

津山ファミリー・サポート・センター

TEL: 31-8753

〒 708-8520

津山市新魚町 17 番地

アルネ・津山 5 階「さん・さん」内

<開館時間> 月・水～金曜日 10:00～19:00

土・日 10:00～18:00

<休館日> 毎週火曜日・祝日・年末年始

会員 1028 人 (依頼会員 535 人 提供会員 433 人 両方会員 60 人) H30/1/31 現在